

# Web 単語帳の自宅学習における有効性

ギョンター 知枝

(徳島大学全学共通教育センター 非常勤講師)

## 1. はじめに

初学の言語をクラスで学習させる場合、ある程度人数が少ないに越したことはない。なぜなら初めてその言語を学習する場合には特に、文法の解説のみならず、発音練習や実際に文章を作らせてみるなど、演習をまじえて授業をすることが重要であるからである。

私は幸い昨年度まで最高で 19 人という少人数クラスで授業を担当していた。そのため、ある程度バランスよく演習を取り入れても、ドイツの文化に関する話をしたり映像をみせたりする余裕があった。

しかしながら 2014 年から担当する入門クラスでは、受講者が 37 人と今までの約 2 倍になり、一人一人に発言させてその場で評価する方法では、時間が足りなくなった。

学期の始めに実施したアンケートで、学生全員がスマートフォンまたは自分の PC を持っていることがわかっていたので、学生が自分で学べる「単語や文の意味を覚える」という部分に関しては、自宅で Web 単語帳を利用して学習させることにした。

以下にその要点をまとめる。

## 2. Web 単語帳を利用するメリット

一番のメリットは、隙間時間を有効利用できることであろう。Web 単語帳であれば、何かの待ち時間にスマートフォンからアクセスすることもできる。また、大学での空き時間に図書館など PC の使える場所で勉強することも可能である。

また、紙の単語帳のように、持ってくるのを忘れたら勉強できないということもない。

そして、あとで紹介するが、私の採用した Quizlet という Web 単語帳は、アカウントを作成することで、公開されている単語帳の閲覧だけで

なく、非公開の自分専用の単語帳を作ることも可能である。

多くのメジャーな言語に対応しているため、各自がたとえば英語などで利用することもできる。

## 3. 実際に利用した Web 単語帳の紹介

私が実際に使用した Web 単語帳は Quizlet という名前の単語帳である。Quizlet で検索するとすぐに見つけることができる。<http://quizlet.com/>

Quizlet を採用した理由は、3 つある。

1 つ目の理由は、PC からでもスマートフォンからでも利用できること。これは、隙間時間に利用してもらう最低条件である。(最近話題になっている反転授業でも、学生のほとんどが予習動画をスマートフォンで視聴しているという)

2 つ目の理由は、単語帳に、音声確認機能がついていること。ロボット音声ではあるが、かなり良い発音で単語を確認することができる。また、有料のオプションを使えば、教師が自分で音声を録音して聞かせることもできる。単語を覚える時に、同時に読み方も覚えた方が効率的であるし、実際に会話をするためには発音の学習は欠かせないものである。

3 つ目の理由は、この Quizlet は、単語帳機能だけでなく、テストの自動生成も行ってくれること。学習したのちに、本当に理解したかどうかはこのテストで確認することができる。何度でも違った組み合わせで問題を出してくれるので、本当に理解したと思うまで確認することができるのも良いところである。

また、記述式、選択式、○×式、左右をつないで答える方式を、好きなように組み合わせでテストを作ることもできるので、私はこの自動生成したテストを、実際の小テストに利用している。

#### 4. 授業での利用の詳細と評価

授業での利用方法であるが、次の授業の内容から単語や重要な言い回しを私が Quizlet に単語帳を作成し、作成済みであることを教務連絡メールなどで学生に通知する。

そして授業の始めに小テストを行い、学習してきたことを確認する。

- ・2014 年度前期には小テストを 5 回行った
- ・小テストに備えて Web 単語帳を利用した学生の割合は平均して 91%
- ・テスト 5 回の、のべ 183 人の平均点は 98 点
- ・学生に、Web 単語帳の利用について挙手によるアンケートをとったところ、「Web 単語帳があったほうが勉強しやすい」という学生は 8 割

また、前期の復習テスト実施時には、どうしてもスペルまで正確に覚えたもらいたい言い回しが、うまく記述問題として出てくるまで、テストの自動生成ボタンを押して内容を調整したうえで、印刷した問題を前もって配った。

- ・「来週のテストでまったく同じ問題を出します」と宣言したところ、テストの結果は平均点が 99 点であった。
- ・先に配っておいたテスト準備用のテスト用紙を回収し、実際のテストの結果と一人一人比べてみたところ、すべての学生が正しい答えを自分で調べて書き出すことができていた。

これらの結果からも、ある程度正解を与えられている場合、Web での自宅学習はまったく問題なく、授業外の学習時間として、暗記する課題を与えて Web で実施させるのは有効であることがわかる。

先に問題がわかっているテストは、学生はありますがたがって受けるが、テストのためであれ何のためであれ、必要な言い回しをきちんと書けるまで練習してくれてくれるのであれば、目的は達成されたと言える。

また、そうして捻出した時間を、ペア練習やドイツに関する動画を観る時間にあてることができた。

#### 5. まとめ

Web 単語帳は、非常に気軽に利用でき、手間がかからず効果的である。

まずは自宅での学習に Web 単語帳を使ってもらい、それに慣れることで、学生に、そのような新しい技術を利用した勉強の仕方に関する気づきがあればと思う。

若者が PC 離れしている、と言われているようだが、Web やアプリケーションを活用する体験をさせることで、単なる暗記学習から、もっとクリエイティブな学習へとつなげていければ思いながら日々、色々と実験してみている。

後期に入って、「サイボウズ Live」という、PC でもスマートフォンでも携帯電話でもアクセスできる無料の掲示板を使って、学生にドイツ語で文章を書いて投稿してもらったり、tagul というサイトで自分を表す形容詞を使ってワード・クラウドという作品を作って投稿してシェアしたりというようなことを実験的に行ったりもしている。若者は何を面白いと思ひ、何をヒントに大切なことに気づいてくれるかわからない。なるべくたくさんの選択肢を与え、新しいことを学ぶ姿勢を自ら学生に示しながら、お互いの役に立つツールや学び方を探っていきたいと思う。



Tagul で作成したワード・クラウド